

(別紙2 - 1)

1 自己評価及び外部評価結果

作成日 平成23年11月1日

【事業所概要(事業所記入)】

事業所番号	4271401673		
法人名	株式会社 日進開発		
事業所名	グループホーム「庄司屋敷」		
所在地	〒859-1401 長崎県島原市有明町湯江甲 1347 番地		
自己評価作成日	平成23年10月31日	評価結果市町受理日	平成24年1月16日

事業所の基本情報は、介護サービス情報の公表制度のホームページで閲覧してください。

基本情報リンク先 URL	
--------------	--

【評価機関概要(評価機関記入)】

評価機関名	特定非営利活動法人 ローカルネット日本福祉医療評価支援機構
所在地	〒855-0801 長崎県島原市高島2丁目7217 島原商工会議所1階
訪問調査日	平成23年12月8日

【事業所が特に力を入れている点・アピールしたい点(事業所記入)】

高台の広大な敷地に3ユニットが横並びに繋がっている建物で、ホームからの景色は有明海と雲仙普賢岳を眺望でき、自然豊かな環境に恵まれている。

毎日、各棟散歩を兼ねた歩行訓練とおやつの前に立ち上がり運動を実施して、歩行と立ち座りの維持を支援している。

季節に合わせた外出、合同でのレクをして気分転換を図り、メリハリの生活を支援している。

【外部評価で確認した事業所の優れている点・工夫点(評価機関記入)】

3ユニットが直線に連なる構造はバリアフリーなどハード面のみならず、日常的なユニット間の職員の連携が、行事や緊急時の際にその効果を発揮できている。また、一つのユニットで好結果を生んだ取り組みやアイデアは共有し伝播させることで、全体でより良い支援に繋げようとするチームワークが出来ている。一つ一つの課題に対し、話し合いや学びの機会を通じ真摯に取り組みされており、地域連携や介護計画作成など一定の目標達成はなされているが、「現状に甘んじず改善の方向へ常に頑張りたい」という言葉に信頼度の高さがうかがえる事業所である

1 自己評価及び外部評価結果

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
理念に基づく運営					
1	1	<p>理念の共有と実践</p> <p>地域密着型サービスの意義を踏まえた事業所理念をつくり、管理者と職員は、その理念を共有して実践につなげている</p>	職員間で理念を共有・認識し、実践につなげている	「尊厳」を重視し、利用者の言葉に耳を傾け、意向や思いを職員間で共有するよう努めている。時に家族よりも職員へ感情吐露をして頂けることで信頼関係を築いていることを実感している。	
2	2	<p>事業所と地域とのつきあい</p> <p>利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、事業所自体が地域の一人員として日常的に交流している</p>	地域での行事や地域からの行事の誘いがある時には、参加出来る事には進んで参加している	地道に協力要請を重ねて、老人会や子供達による伝統行事の訪問などの地域交流や、学生、生徒との世代間交流における認知症啓蒙など関係作りが軌道に乗ったところである。	
3		<p>事業所の力を活かした地域貢献</p> <p>事業所は、実践を通じて積み上げている認知症の人の理解や支援の方法を、地域の人々に向けて活かしている</p>	見学を希望される方についてはいつでも開放している		
4	3	<p>運営推進会議を活かした取組み</p> <p>運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている</p>	参加者より意見・要望を聞き、改善を行い介護サービスに活かしている	家族代表には一年を通して参加を依頼し、事業所運営の流れを見て頂き、消防訓練や利用者と同じ食事を試食してもらするなど体験型の会議も取り入れ参加者の理解を得られている。	
5	4	<p>市町との連携</p> <p>市町担当者と日頃から連絡を密に取り、事業所の実情やケアサービスの取組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くよう取り組んでいる</p>	介護保険申請書を持参した時、状況を尋ねられたら情報を提供し、これらの問題についても相談をし、解決できるようにしている	行政からしか得られない情報や、適切なアドバイスをいただいている。老人会会合に担当者が出席し家族に対し、事業所運営に対して正当な評価を述べてくれたことがあった。	
6	5	<p>身体拘束をしないケアの実践</p> <p>代表者及び全ての職員が「指定地域密着型サービス指定基準及び指定地域密着型介護予防サービス指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる</p>	身体拘束のマニュアルを作り、全職員が正しい理解をし、拘束をしない介護サービスを提供するよう取り組んでいる	言葉の拘束に関して法人内事業所での研修に職員が参加し、事故防止、安全確保の為に、見守りの徹底に努め「待って」といった行動制止の言葉の排除に努めている。	
7		<p>虐待の防止の徹底</p> <p>管理者や職員は、高齢者虐待防止法等について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている</p>	資料の配布や新聞の切り抜きなどを読み、スタッフ間で気付いた事はないか話す機会をもっている		

8	<p>権利擁護に関する制度の理解と活用</p> <p>管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している</p>	<p>今後、勉強する機会を設け勉強していきたいと思う</p>		
9	<p>契約に関する説明と納得</p> <p>契約の締結、解約又は改定等の際は、利用者や家族等の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている</p>	<p>入所時に説明を行い、納得された上で契約を行っている</p>		
10	6 <p>運営に関する利用者、家族等意見の反映</p> <p>利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員並びに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている</p>	<p>玄関に意見箱を設置。家族の方の面会時に意見や要望を聞くようにしている</p>	<p>日常的に家族への情報提供と報告を徹底している。食事に関する意見聴取後は写真で伝えるなど運営努力を理解いただき、家族に対する協力要請も丁寧に説明の上、納得されるよう伝えている。</p>	
11	7 <p>運営に関する職員意見の反映</p> <p>代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている</p>	<p>月に1回のミーティングを開き、職員の意見や提案を聞く機会を設けている</p>	<p>全体会議においては離職について問題提起し継続性について真摯に話し合い、また職員の腰痛の訴えからアンケートを実施し、速やかに入浴時のリフトを設置した。</p>	

12	<p>就業環境の整備</p> <p>代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている</p>	各自が向上心を持って働けるように努め、現場の状況や変化を知り、職員の努力や成果を把握している		
13	<p>職員を育てる取組み</p> <p>代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている</p>	職員の立場・経験・習熟度に応じ、計画的な人材育成に取り組んでいる		
14	<p>同業者との交流を通じた向上</p> <p>代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会をつくり、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取組みをしている</p>	連絡協議会など積極的に参加し、同業者との交流機会がありサービスに役立っている		
安心と信頼に向けた関係づくりと支援				
15	<p>初期に築く本人との信頼関係</p> <p>サービスの利用を開始する段階で、本人が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりに努めている</p>	本人の思いや不安を受けて安心してもらい、今何を求め、何が大切かその人を見て知ろうとしている		
16	<p>初期に築く家族等との信頼関係</p> <p>サービスの利用を開始する段階で、家族等が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、関係づくりに努めている</p>	今、何が困っているかニーズは何かなど、話を聞いてそれぞれの問題に対して努力している		
17	<p>初期対応の見極めと支援</p> <p>サービスの利用を開始する段階で、本人と家族等が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている</p>	出来る事は、すぐ実行し、出来ない事には逃げずに方策を考えて対応するように努めている		

18		<p>本人と共に過ごし支え合う関係</p> <p>職員は、本人を介護される一方の立場に置かず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている</p>	<p>利用者の思いを理解し、得意分野を発揮してもらいお互い様という気持ちや感謝する関係を築いている</p>		
19		<p>本人と共に支え合う家族との関係</p> <p>職員は、家族を支援される一方の立場に置かず、本人と家族の絆を大切にしながら、共に本人を支えていく関係を築いている</p>	<p>本人と共に支え合う姿勢で一緒に考え、情報交換を密にして支援していけるようにしている</p>		
20	8	<p>馴染みの人や場との関係継続の支援</p> <p>本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている</p>	<p>これまで支えくれた人、逆に支えてきた人との人間関係が継続出来るように支援するようにしている</p>	<p>来訪者がたまたま利用者の近隣の方であったり、新規の利用者と偶然同じ自治会だった方がおられたりと、旧交を温め、安心と共感の関係が生まれることがあった。</p>	
21		<p>利用者同士の関係の支援</p> <p>利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるような支援に努めている</p>	<p>一緒に生活する仲間、支え合う仲間として孤立しないように支援するようにしている</p>		
22		<p>関係を断ち切らない取組み</p> <p>サービス利用（契約）が終了しても、これまでの関係性を大切にしながら、必要に応じて本人・家族の経過をフォローし、相談や支援に努めている</p>	<p>契約終了後もこれまでの関係を大切にサービスや相談など支援できるように努めている</p>		
その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント					
23	9	<p>思いや意向の把握</p> <p>一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している。</p>	<p>本人の思いを大切にどのように暮らしたいか、何をしたいかなど日々の行動や表情から把握出来るように努めている</p>	<p>アセスメントは半年に一回、変化の際は随時行っている。現状に即した方向性を目指し改善を重ねている。利用者が困っていることを探り支援すること、出来る役割を見つけることに努めている。</p>	

24	<p>これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている</p>	<p>家族・本人に尋ね暮らしの情報（私の生活史シート）を作成し把握に努めている</p>		
25	<p>暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状の把握に努めている</p>	<p>本人の全体像を把握し、個人の1日の生活を支援するよう努めている</p>		
26	10 <p>チームでつくる介護計画とモニタリング 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している</p>	<p>家族面会時や週に1回現状の様子を伝え、家族・本人の意見をくみ取り介護計画を作成している</p>	<p>担当制として職員の関わりをより深くし、プランに対する意識改革を実践中である。モニタリングを意識し支援の具体的な実施内容を記録することを徹底している。</p>	
27	<p>個別の記録と実践への反映 日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている</p>	<p>本人の言葉など記録に残すように心がけ、職員間の情報共有を図っている</p>		
28	<p>一人ひとりを支えるための事業所の多機能化 本人や家族の状況、その時々生まれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる</p>	<p>医療連携を活かし、重症化を予防している。又通院や入退院時の送迎を支援している</p>		
29	<p>地域資源との協働 一人ひとりの暮らしを支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している</p>	<p>小・中学生のボランティアの受け入れや、地域の福祉祭りなどに参加をしている</p>		

30	11	<p>かかりつけ医の受診診断</p> <p>受診は、本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している</p>	<p>受診前後、家族へ連絡を入れる</p>	<p>受診支援は出来る限り事業所に近い病院でお願いしており、怪我や特変の場合は受診前後に家族へ電話で報告している。往診がある時は家族の同席も時に依頼している。</p>	
31		<p>看護職員との協働</p> <p>介護職員は、日常の関わりの中でとれた情報や気づきを、職場内の看護職員や訪問看護師等に伝えて相談し、個々の利用者が適切な受診や看護を受けられるように支援している</p>	<p>看護師との医療連携を図り、変化がみられた時適切な観察や助言を行っている</p>		
32		<p>入退院時の医療機関との協働</p> <p>利用者が入院した際、安心して治療できるように、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。又は、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている。</p>	<p>家族と連携しながら回復状況など情報を集め、退院支援に努めている</p>		
33	12	<p>重度化や終末期に向けた方針の共有と支援</p> <p>重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人・家族等と話し合いを行い、事業所でできることを十分に説明しながら方針を共有し、地域の関係者と共にチームで支援に取り組んでいる</p>	<p>病院の意見を聞き、本人・家族と話し合い支援している</p>	<p>今年、本人の意思、家族の意向を尊重し、看取り支援をおこなった。夜間は施設長が連絡があれば即時対応で待機し、他ユニットも情報共有し協力体制をとるかたちで職員の精神的負担軽減を図った。家族の協力も不可欠であると、改めて認識した</p>	
34		<p>急変や事故発生時の備え</p> <p>利用者の急変や事故発生時に備えて、全ての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている</p>	<p>講習へ参加。全員が把握出来るようにしている</p>		
35	13	<p>災害対策</p> <p>火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている</p>	<p>避難場所、移送手段の確保をしている</p>	<p>消防訓練においては自治会消防団や自治会長など協力要請を重ねて地域連携を確認している。目標達成計画に沿って非常時持ち出し品や備蓄を整備、周知徹底できた。</p>	<p>風水害、地震といった自然災害に対する備えも、地域連携を含め情報収集から取り組まれていかれることに期待したい。</p>

その人らしい暮らしを続けるための日々の支援

36	14	一人ひとりの人格の尊重とプライバシーの確保 一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている	年長者として敬意を払い、尊厳を無視した対応をしない。守るべき情報は決して漏らさず、言葉かけや対応に配慮している	管理者は指導的立場で常に職員に対して言葉使いにおいて配慮を促しており、かつ職員は利用者に対し心穏やかに対応出来るよう心がけている。	
37		利用者の希望の表出や自己決定の支援 日常生活の中で本人が思いや希望を表したり、自己決定できるように働きかけている	一人ひとりの力に合わせて表情や反応を注意深く見ながら自己決定に努めている		
38		日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	職員の都合に合わせてだけでなく、入居者様の一人ひとりのペースに合わせた暮らしや見守りながら一緒に生活を送っている		
39		身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援している	本人が持っている服を最大限に生かし自分で選べる人は選んでもらい、それが出来ない人にはスタッフが選び、身だしなみを支援している		
40	15	食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	入居者様の好き・嫌いを把握したり食事への関心を引き起こす工夫をしている	量、内容共にしっかり充実した食事であり、全員好まれる「稲荷ずし」など嗜好を把握し、食の楽しみを提供している。野菜の皮むきなど出来る方は参加されている。	

41		<p>栄養摂取や水分確保の支援</p> <p>食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている</p>	<p>一人ひとりの食事量・水分・バランスを把握し、献立・栄養バランスに配慮した支援をしている</p>		
42		<p>口腔内の清潔保持</p> <p>口の中の汚れや臭いが生じないように、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている</p>	<p>口の中の手入れの必要性を理解し、毎食後の口腔ケアをし、入れ歯の管理・手入れをするよう支援している</p>		
43	16	<p>排泄の自立支援</p> <p>排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立に向けた支援を行っている</p>	<p>一人ひとりの生活リズムに添った支援をし、失敗してしまった場合でも周囲に気づかれない配慮をしている</p>	<p>日中も各自居室のトイレを使用している。トイレ入口付近に手すりを新たに設置し、夜間も安全に安心して、使用できるようにベッドをトイレ近くに動かすなどの配慮をしている。</p>	
44		<p>便秘の予防と対応</p> <p>便秘の原因や及ぼす影響を理解し、飲食物の工夫や運動への働きかけ等、個々に応じた予防に取り組んでいる</p>	<p>水分の確保や繊維質の食物を提供。本人に合わせた運動を支援している</p>		
45	17	<p>入浴を楽しむことができる支援</p> <p>一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めてしまわずに、個々に応じた入浴の支援をしている</p>	<p>生活習慣や希望に合わせて入浴できるよう工夫し、入浴を拒む人に対して言葉かけや対応の工夫し、一人ひとりに合わせた支援をしている</p>	<p>週三日を基本に、利用者の希望があれば柔軟に対応している。リフト浴の設備を導入したことで職員の介護負担が軽減され、利用者がより快適に安全に入浴できるようになった。</p>	
46		<p>安眠や休息の支援</p> <p>一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している</p>	<p>1日の生活リズムをして個別に休息を取り入れ、医師と相談して睡眠・薬剤等の在り方について全体的な調整に努めている</p>		

47	<p>服薬支援</p> <p>一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている</p>	<p>全職員が薬の内容を把握し、服薬の副作用が無いか確認を日常の中で行い、状況と変化を記録しての情報を家族・医師に提供している</p>		
48	<p>役割、楽しみごとの支援</p> <p>張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている</p>	<p>利用者の経験や知恵を生かした役割や楽しみごとの支援をしている</p>		
49	18 <p>日常的な外出支援</p> <p>一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援に努めている。また、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるように支援している</p>	<p>天気や時間の許す限りで、散歩やドライブなどに行けるように支援している</p>	<p>要望に応じて買い物などの個別支援や、ユニットごとに外食を楽しむ機会もある。車両送迎の協力も申し出て、墓参りなど外出への家族支援を呼びかけている。</p>	
50	<p>お金の所持や使うことの支援</p> <p>職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している</p>	<p>お金を持つことが可能な方は、家族の方や職員と自分の物を買に行くように支援している</p>		
51	<p>電話や手紙の支援</p> <p>家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている</p>	<p>合いたいと希望があった時に自宅に電話をかける等の支援をしている</p>		
52	19 <p>居心地のよい共用空間づくり</p> <p>共用の空間（玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等）が、利用者にとって不快や混乱をまねくような刺激（音、光、色、広さ、温度など）がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている</p>	<p>季節を感じて頂けるように壁画を毎月一緒に作成している</p>	<p>一直線に繋がる長い廊下は、3ユニットの連携を深め、歩行訓練にも有効な造作となっている。同じ間取りの中で居間は各ユニットの個性が感じられ寛げる空間である。</p>	

53	<p>共用空間における一人ひとりの居場所づくり</p> <p>共用空間の中で、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている</p>	<p>気の合った利用者同士で塗り絵や編み物等出来るように配慮している</p>		
54	20	<p>居心地よく過ごせる居室の配慮</p> <p>居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている</p>	<p>馴染みのある家具で安心して過ごしていただけるように支援している</p>	<p>洗面台、筆筒、ベッドと備え付けがある機能的で快適な空間に、各々持ち込みの調度品や飾りつけでその人らしさが感じられる。加湿器の備えも家族協力でなされている。</p>
55		<p>一人ひとりの力を活かした安全な環境づくり</p> <p>建物内部は一人ひとりの「できること」や「わかること」を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している</p>	<p>本人の状態に合わせて、シルバーカーの使用や歩行の邪魔にならないように廊下に物を置かないように配慮している</p>	

アウトカム項目

56	<p>職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる。 (参考項目：23,24,25)</p>	1, ほぼ全ての利用者の
		2, 利用者の2/3くらいの
		3, 利用者の1/3くらいの
		4, ほとんど掴んでいない
57	<p>利用者と職員が一緒にゆったりと過ごす場面がある。 (参考項目：18,38)</p>	1, 毎日ある
		2, 数日に1回程度ある
		3, たまにある
		4, ほとんどない
58	<p>利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている。 (参考項目：38)</p>	1, ほぼ全ての利用者が
		2, 利用者の2/3くらいが
		3, 利用者の1/3くらいが
		4, ほとんどいない
59	<p>利用者は、職員が支援することで生き生きとした表情や姿がみられている (参考項目：36,37)</p>	1, ほぼ全ての利用者が
		2, 利用者の2/3くらいが
		3, 利用者の1/3くらいが
		4, ほとんどいない
60	<p>利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている (参考項目：49)</p>	1, ほぼ全ての利用者が
		2, 利用者の2/3くらいが
		3, 利用者の1/3くらいが
		4, ほとんどいない
61	<p>利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている。 (参考項目：30,31)</p>	1, ほぼ全ての利用者が
		2, 利用者の2/3くらいが
		3, 利用者の1/3くらいが
		4, ほとんどいない

62	利用者は、その時々状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らしている。 (参考項目：28)	1, ほぼ全ての利用者が 2, 利用者の2/3くらいが 3, 利用者の1/3くらいが 4, ほとんどいない
63	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができています。 (参考項目：9,10,19)	1, ほぼ全ての家族と 2, 家族の2/3くらいと 3, 家族の1/3くらいと 4, ほとんどできていない
64	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている。 (参考項目：9,10,19)	1, ほぼ毎日のように 2, 数日に1回程度ある 3, たまに 4, ほとんどない
65	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりの拡がりや深まりがあり、事業所の理解者や応援者が増えている。 (参考項目：4)	1, 大いに増えている 2, 少しずつ増えている 3, あまり増えていない 4, 全くいない
66	職員は、生き活きと働いている。 (参考項目：11,12)	1, ほぼ全ての職員が 2, 職員の2/3くらいが 3, 職員の1/3くらいが 4, ほとんどいない
67	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う。	1, ほぼ全ての利用者が 2, 利用者の2/3くらいが 3, 利用者の1/3くらいが 4, ほとんどいない
68	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う。	1, ほぼ全ての家族等が 2, 家族等の2/3くらいが 3, 家族等の1/3くらいが 4, ほとんどいない

1 自己評価及び外部評価結果

自己評価	外部評価	項 目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
理念に基づく運営					
1	1	<p>理念の共有と実践</p> <p>地域密着型サービスの意義を踏まえた事業所理念をつくり、管理者と職員は、その理念を共有して実践につなげている</p>	<p>理念と社是のもと、職員間で共有または、見直す事で実践につなげている</p>		
2	2	<p>事業所と地域とのつきあい</p> <p>利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、事業所自身が地域の一員として日常的に交流している</p>	<p>地域との付き合いを大切にすべく、お互いの行事への参加や招待を行い、交流している</p>		
3		<p>事業所の力を活かした地域貢献</p> <p>事業所は、実践を通じて積み上げている認知症の人の理解や支援の方法を、地域の人々に向けて活かしている</p>	<p>地域との交流を深める事で認知症の人の理解や支援の方法を活かせるよう努めている</p>		
4	3	<p>運営推進会議を活かした取組み</p> <p>運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている</p>	<p>運営推進会議を通じてサービス向上に活かしている</p>		
5	4	<p>市町との連携</p> <p>市町担当者と日頃から連絡を密に取り、事業所の実情やケアサービスの取組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くよう取り組んでいる</p>	<p>情報提供を行う事で協力関係を築くよう努めている</p>		

6	5	<p>身体拘束をしないケアの実践</p> <p>代表者及び全ての職員が「指定地域密着型サービス指定基準及び指定地域密着型介護予防サービス指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる</p>	<p>身体拘束のマニュアルのもと全職員への理解を促し、注意して日々介護へ取り組んでいる</p>		
7		<p>虐待の防止の徹底</p> <p>管理者や職員は、高齢者虐待防止法等について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見逃ごされることがないように注意を払い、防止に努めている</p>	<p>虐待については注意深く職員間であっても見逃ごさないよう防止に努めている</p>		
8		<p>権利擁護に関する制度の理解と活用</p> <p>管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している</p>	<p>機会があれば研修へ参加するように努めたい</p>		
9		<p>契約に関する説明と納得</p> <p>契約の締結、解約又は改定等の際は、利用者や家族等の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている</p>	<p>疑問等あっても理解頂くような説明が出来るよう努めている</p>		
10	6	<p>運営に関する利用者、家族等意見の反映</p> <p>利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員並びに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている</p>	<p>意見箱の設置、もしくは年に1度の家族会での意見交換を設け取り組んでいる</p>		
11	7	<p>運営に関する職員意見の反映</p> <p>代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている</p>	<p>棟のミーティングでの意見交換をもとに管理者は会社での会議にて提案出来る機会を設けている</p>		

12	<p>就業環境の整備</p> <p>代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている</p>	<p>ゆっくり気分転換が出来る休憩室が確保出来ない</p>		
13	<p>職員を育てる取組み</p> <p>代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている</p>	<p>色々な研修に参加し、参加後は研修報告書を提出し、他者も閲覧出来るようにしている</p>		
14	<p>同業者との交流を通じた向上</p> <p>代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会をつくり、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取組みをしている</p>	<p>グループホームケア研究会等に参加し交流を持ち、サービスの質の向上を目指している</p>		
<p>安心と信頼に向けた関係づくりと支援</p>				
15	<p>初期に築く本人との信頼関係</p> <p>サービスの利用を開始する段階で、本人が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりに努めている</p>	<p>本人の求めている事や不安を理解しようとする努力し、可能な限り本人と面談をするよう配慮している</p>		
16	<p>初期に築く家族等との信頼関係</p> <p>サービスの利用を開始する段階で、家族等が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、関係づくりに努めている</p>	<p>家族と話し合い、どのような事を求め、どのような対応が出来るのか関係づくりに努力している</p>		
17	<p>初期対応の見極めと支援</p> <p>サービスの利用を開始する段階で、本人と家族等が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている</p>	<p>本人、家族との会話の中でどのような支援を必要としているのか見極め、どのようなサービスに対応出来るのか努力している</p>		

18		<p>本人と共に過ごし支え合う関係 職員は、本人を介護される一方の立場に置かず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている</p>	<p>利用者の方から教えてもらう事も多々あり、人生の先輩として接している</p>		
19		<p>本人と共に支え合う家族との関係 職員は、家族を支援される一方の立場に置かず、本人と家族の絆を大切にしながら、共に本人を支えていく関係を築いている</p>	<p>本人の日頃の状態を1週間に1度は連絡し、面会時には報告を欠かさず家族と共有している</p>		
20	8	<p>馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないう、支援に努めている</p>	<p>馴染みの人との交流は難しいが地域のボランティアの方の協力も得て新しい馴染みの関係も出来てきている</p>		
21		<p>利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるような支援に努めている</p>	<p>職員が間に入り利用者同士の関係がうまくいくよう努力している</p>		
22		<p>関係を断ち切らない取組み サービス利用（契約）が終了しても、これまでの関係性を大切にしながら、必要に応じて本人・家族の経過をフォローし、相談や支援に努めている</p>	<p>他の事業所へ移られた方にも面会に行く機会を作っている</p>		
その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント					
23	9	<p>思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している。</p>	<p>利用者の思いや言葉に耳を傾け日々の生活の中で行動や表情からくみ取り把握していけるよう努めている</p>		

24		<p>これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている</p>	<p>これまでの暮らしについて、本人・家族等から話を聞き把握に努めている</p>		
25		<p>暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状の把握に努めている</p>	<p>入居者との日頃の関わりの中で日常生活に反映出来るように思いや意見を聞いている</p>		
26	10	<p>チームでつくる介護計画とモニタリング 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している</p>	<p>本人、家族の意見を反映し利用者本位の介護計画になるよう努めている</p>		
27		<p>個別の記録と実践への反映 日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている</p>	<p>実践への反映が出来るように介護計画に沿っての実践に努めている</p>		
28		<p>一人ひとりを支えるための事業所の多機能化 本人や家族の状況、その時々生まれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる</p>	<p>必要な時に必要なサービスが提供出来るように日々変化する状況や要望の把握に努めている</p>		
29		<p>地域資源との協働 一人ひとりの暮らしを支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している</p>	<p>ボランティア、小学生の訪問、中学生・高校生の福祉体験を積極的に受け入れ、交流を図っている</p>		

30	11	<p>かかりつけ医の受診診断</p> <p>受診は、本人及び家族等の希望を大切にし、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している</p>	<p>主治医に適切な助言や指示を受けている。特変時は、その都度受診し家族に報告をしている</p>		
31		<p>看護職員との協働</p> <p>介護職員は、日常の関わりの中でとらえた情報や気づきを、職場内の看護職員や訪問看護師等に伝えて相談し、個々の利用者が適切な受診や看護を受けられるように支援している</p>	<p>看護師の訪設時、状態報告をしている。状態の変化が生じた時は、その都度指示を受ける</p>		
32		<p>入退院時の医療機関との協働</p> <p>利用者が入院した際、安心して治療できるように、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。又は、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている。</p>	<p>退院支援に結びつくよう本人の支援方法に関する情報を医療機関に提供している。家族とも情報交換している</p>		
33	12	<p>重度化や終末期に向けた方針の共有と支援</p> <p>重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人・家族等と話し合いを行い、事業所でできることを十分に説明しながら方針を共有し、地域の関係者と共にチームで支援に取り組んでいる</p>	<p>主治医、家族との連携をとり対応し得る最大のケアに努める</p>		
34		<p>急変や事故発生時の備え</p> <p>利用者の急変や事故発生時に備えて、全ての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている</p>	<p>実践力を身につける為、研修会・専門の講義への参加を積極的に行っている</p>		
35	13	<p>災害対策</p> <p>火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている</p>	<p>消防署・地域の方の協力を得て、定期的に避難訓練を行い避難経路の確認に努める</p>		

その人らしい暮らしを続けるための日々の支援			
36	14	一人ひとりの人格の尊重とプライバシーの確保 一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている	本人の気持ちを大切に考えて援助が必要な時は、さりげないケアを心がけ、言葉がけをするように努めている
37		利用者の希望の表出や自己決定の支援 日常生活の中で本人が思いや希望を表したり、自己決定できるように働きかけている	本人が答えやすく、選びやすいよう一人ひとりの状態に合わせて、利用者が自分で決める場面を作っている
38		日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切にし、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	その時の本人の気持ちを尊重し、体調に配慮して出来るだけ個別性のある支援を行っている
39		身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援している	基本的に本人の意向で決めており、その人らしさを保てるような支援をしている
40	15	食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	楽しく食事が出来るような雰囲気を作り、利用者と一緒に調理・配膳・片付け等も行っている
41		栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	食が進むよう一人ひとりの体調と1日の摂取量を把握し、献立の栄養バランスに配慮している

42		<p>口腔内の清潔保持</p> <p>口の中の汚れや臭いが生じないように、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている</p>	<p>声掛け見守りをし、一人ひとりの習慣や意向を踏まえ働きかけを行っている</p>		
43	16	<p>排泄の自立支援</p> <p>排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立に向けた支援を行っている</p>	<p>排泄チェック表を使用し、トイレ誘導を行い自尊心に配慮し、身体機能に応じて介助している</p>		
44		<p>便秘の予防と対応</p> <p>便秘の原因や及ぼす影響を理解し、飲食物の工夫や運動への働きかけ等、個々に応じた予防に取り組んでいる</p>	<p>1日の暮らしの中で食事・排泄・活動状態を見て自然排便を促す工夫をし、便秘予防に繊維質の多い食材や十分な水分補給をしてもらうように支援しています</p>		
45	17	<p>入浴を楽しむことができる支援</p> <p>一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めてしまわずに、個々に応じた入浴の支援をしている</p>	<p>本人の生活習慣や希望に合わせて入浴出来る配慮をし、一人ひとりに合わせた入浴支援を行っている。入浴を拒む人に対しては、言葉がけや対応の工夫をしています</p>		
46		<p>安眠や休息の支援</p> <p>一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している</p>	<p>ゆっくり休息や安眠が出来るよう一人ひとりの体調や表情、希望等を考慮し、日中の個別の疲れ具合に合わせて日中の活動に配慮している</p>		

47		<p>服薬支援</p> <p>一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている</p>	<p>服薬時は、本人と内容の確認を行い、利用者の薬の内容を把握出来るようにしている。薬の説明書をファイル保管している</p>		
48		<p>役割、楽しみごとの支援</p> <p>張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている</p>	<p>本人が出来る事、掃除や洗濯物たたみ、調理手伝いなど役割分担し充実ある日々支援している。レクリエーションにも皆さんが楽しめるよう支援している</p>		
49	18	<p>日常的な外出支援</p> <p>一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援に努めている。また、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるように支援している</p>	<p>天気が良く、暖かい日は外庭でおやつを食べる機会を作っている。買い物の希望がある方へは近くの店へ行っている</p>		
50		<p>お金の所持や使うことの支援</p> <p>職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している</p>	<p>本人の安心・満足に向け少額の所持金を持っていただけるよう家族と相談しながら支援している。外出時の買い物等のお金は本人へ手渡し、本人が払えるように工夫をしている</p>		

51		<p>電話や手紙の支援</p> <p>家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている</p>	<p>本人の希望に応じて、家族等へ電話をしやすい雰囲気作りをしている。正月の年賀状に一言書ける人には、書いてもらうようにしている</p>		
52	19	<p>居心地のよい共用空間づくり</p> <p>共用の空間（玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等）が、利用者にとって不快や混乱をまねくような刺激（音、光、色、広さ、温度など）がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている</p>	<p>利用者の方が自宅で使用していた家具を居室で使いやすい配置にしている。リビングの飾りつけは季節感を取り入れるように毎月替えている</p>		
53		<p>共用空間における一人ひとりの居場所づくり</p> <p>共用空間の中で、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている</p>	<p>和室で一人で過ごしたり、仲の良い利用者同士が楽しく話をし寛げるようにしている。食堂・居間はすべてが視界に入るようにソファやテーブルなど配置を工夫し皆さんが落ち着いて過ごせるようスペース作りをしている</p>		
54	20	<p>居心地よく過ごせる居室の配慮</p> <p>居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている</p>	<p>利用者が自宅で使っていた家具や思い出の写真など飾り居心地の良い空間作りをしている</p>		

55	<p>一人ひとりの力を活かした安全な環境づくり</p> <p>建物内部は一人ひとりの「できること」や「わかること」を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している</p>	<p>利用者の状態が変化した場合、その都度職員で話し合い本人に合った介助をしていき、不安・混乱の材料を取り除き支援している。一人ひとりの理解力を見極め、物の配置に配慮している</p>		
アウトカム項目				
56	<p>職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる。 (参考項目：23,24,25)</p>			<p>1, ほぼ全ての利用者の</p> <p>2, 利用者の2/3くらい</p> <p>3, 利用者の1/3くらい</p> <p>4, ほとんど掴んでいない</p>
57	<p>利用者と職員と一緒にゆったりと過ごす場面がある。 (参考項目：18,38)</p>			<p>1, 毎日ある</p> <p>2, 数日に1回程度ある</p> <p>3, たまにある</p> <p>4, ほとんどない</p>
58	<p>利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている。 (参考項目：38)</p>			<p>1, ほぼ全ての利用者が</p> <p>2, 利用者の2/3くらいが</p> <p>3, 利用者の1/3くらいが</p> <p>4, ほとんどいない</p>
59	<p>利用者は、職員が支援することで生き生きとした表情や姿がみられている (参考項目：36,37)</p>			<p>1, ほぼ全ての利用者が</p> <p>2, 利用者の2/3くらいが</p> <p>3, 利用者の1/3くらいが</p> <p>4, ほとんどいない</p>
60	<p>利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている (参考項目：49)</p>			<p>1, ほぼ全ての利用者が</p> <p>2, 利用者の2/3くらいが</p> <p>3, 利用者の1/3くらいが</p> <p>4, ほとんどいない</p>
61	<p>利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている。 (参考項目：30,31)</p>			<p>1, ほぼ全ての利用者が</p> <p>2, 利用者の2/3くらいが</p> <p>3, 利用者の1/3くらいが</p> <p>4, ほとんどいない</p>
62	<p>利用者は、その時々状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らせている。 (参考項目：28)</p>			<p>1, ほぼ全ての利用者が</p> <p>2, 利用者の2/3くらいが</p> <p>3, 利用者の1/3くらいが</p> <p>4, ほとんどいない</p>
63	<p>職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができている。 (参考項目：9,10,19)</p>			<p>1, ほぼ全ての家族と</p> <p>2, 家族の2/3くらいと</p> <p>3, 家族の1/3くらいと</p> <p>4, ほとんどできていない</p>

64	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている。 (参考項目：9,10,19)	1, ほぼ毎日のように
		2, 数日に1回程度ある
		3. たまに
		4. ほとんどない
65	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりの拡がりや深まりがあり、事業所の理解者や応援者が増えている。 (参考項目：4)	1, 大いに増えている
		2, 少しずつ増えている
		3. あまり増えていない
		4. 全くいない
66	職員は、生き生きと働いている。 (参考項目：11,12)	1, ほぼ全ての職員が
		2, 職員の2/3くらいが
		3. 職員の1/3くらいが
		4. ほとんどいない
67	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う。	1, ほぼ全ての利用者が
		2, 利用者の2/3くらいが
		3. 利用者の1/3くらいが
		4. ほとんどいない
68	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う。	1, ほぼ全ての家族等が
		2, 家族等の2/3くらいが
		3. 家族等の1/3くらいが
		4. ほとんどいない

1 自己評価及び外部評価結果

自己評価	外部評価	項 目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップ に向けて期待 したい内容
理念に基づく運営					
1	1	理念の共有と実践 地域密着型サービスの意義を踏まえた事業所理念をつくり、管理者と職員は、その理念を共有して実践につなげている	見える所に貼り理念に基づいた実践が出来るようにしている		
2	2	事業所と地域とのつきあい 利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、事業所自体が地域の一員として日常的に交流している	小中高のボランティアを受け入れ、敬老会の参加と交流を行っている		
3		事業所の力を活かした地域貢献 事業所は、実践を通じて積み上げている認知症の人の理解や支援の方法を、地域の人々に向けて活かしている	今までの実践を生かし、より良い支援が出来るよう相談にのっている		
4	3	運営推進会議を活かした取組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	2か月に1度の推進会議に自治会長・老人会長・家族に参加頂き意見を聞き活かす努力をしている		
5	4	市町との連携 市町担当者と日頃から連絡を密に取り、事業所の実情やケアサービスの取組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くように取り組んでいる	緊急時は、協力を得るようにしている		

6	5	<p>身体拘束をしないケアの実践</p> <p>代表者及び全ての職員が「指定地域密着型サービス指定基準及び指定地域密着型介護予防サービス指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる</p>	<p>玄関コールの対応。見守り・声掛けにより日々の暮らしを支えるよう取り組んでいる</p>		
7		<p>虐待の防止の徹底</p> <p>管理者や職員は、高齢者虐待防止法等について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見逃ごされることがないように注意を払い、防止に努めている</p>	<p>研修に参加し情報を周知して虐待がないよう注意している</p>		
8		<p>権利擁護に関する制度の理解と活用</p> <p>管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している</p>	<p>必要に応じ対応が出来るようにしている</p>		
9		<p>契約に関する説明と納得</p> <p>契約の締結、解約又は改定等の際は、利用者や家族等の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている</p>	<p>見学に来て頂き契約書の説明を行い疑問点がないようにし、改定等は家族会で説明して納得をもらっている</p>		
10	6	<p>運営に関する利用者、家族等意見の反映</p> <p>利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員並びに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている</p>	<p>週に1度の家族への現状報告を行い、意見・要望を聞き入れるようにしている</p>		
11	7	<p>運営に関する職員意見の反映</p> <p>代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている</p>	<p>全体会議を行い意見・提案等、問題点がないように心がけている</p>		

12	<p>就業環境の整備</p> <p>代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている</p>	<p>個人評価は行っていないので給与にそれが反映される事も無い</p>		
13	<p>職員を育てる取組み</p> <p>代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている</p>	<p>研修には、交替で行くようにし後日、全員に内容を話している。良いと思う事は、実習している</p>		
14	<p>同業者との交流を通じた向上</p> <p>代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会をつくり、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取組みをしている</p>	<p>ケア研究会に参加し、意見情報の交換を行っている</p>		
<p>安心と信頼に向けた関係づくりと支援</p>				
15	<p>初期に築く本人との信頼関係</p> <p>サービスの利用を開始する段階で、本人が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりに努めている</p>	<p>日頃の会話から本人の求めている事や不安な事等を理解しようと工夫している</p>		
16	<p>初期に築く家族等との信頼関係</p> <p>サービスの利用を開始する段階で、家族等が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、関係づくりに努めている</p>	<p>家族の要求や不安な事等、どんなところに対応出来るか話し合っている</p>		
17	<p>初期対応の見極めと支援</p> <p>サービスの利用を開始する段階で、本人と家族等が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている</p>	<p>必要としている支援を見極め状況等を把握し必要なサービスにつなげるようにしている</p>		

18		<p>本人と共に過ごし支え合う関係</p> <p>職員は、本人を介護される一方の立場に置かず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている</p>	<p>人生の先輩であるという考えを持って接している。利用者の方から教えて貰う</p>		
19		<p>本人と共に支え合う家族との関係</p> <p>職員は、家族を支援される一方の立場に置かず、本人と家族の絆を大切にしながら、共に本人を支えていく関係を築いている</p>	<p>ご本人を家族と一緒に支えるよう努めている</p>		
20	8	<p>馴染みの人や場との関係継続の支援</p> <p>本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないう、支援に努めている</p>	<p>知人や身内の面会の足も遠のき、家族のみの面会となっている</p>		
21		<p>利用者同士の関係の支援</p> <p>利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるような支援に努めている</p>	<p>出来る事をして頂き、生き甲斐を持って楽しく過ごせるよう支援している</p>		
22		<p>関係を断ち切らない取組み</p> <p>サービス利用（契約）が終了しても、これまでの関係性を大切にしながら、必要に応じて本人・家族の経過をフォローし、相談や支援に努めている</p>	<p>他の事業所を利用している方にも会いに行く機会を作っている</p>		
その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント					
23	9	<p>思いや意向の把握</p> <p>一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している。</p>	<p>利用者の言葉や表現出来ない事柄を表情や行動からくみ取り、把握するよう努めている</p>		

24		<p>これまでの暮らしの把握</p> <p>一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている</p>	<p>入居者・スタッフ共に町内出身者が多い為、色々な情報が入りやすい</p>		
25		<p>暮らしの現状の把握</p> <p>一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状の把握に努めている</p>	<p>出来る事には「したい」と訴える事が出来る方も出来ない方も拒否されない限り参加して頂く</p>		
26	10	<p>チームでつくる介護計画とモニタリング</p> <p>本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している</p>	<p>日々、家族と連絡を取り合い家族の気付き・要望・アイデアを計画に取り入れている</p>		
27		<p>個別の記録と実践への反映</p> <p>日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている</p>	<p>食事・水分・排泄・本人の言葉・エピソード・介護目標に添った様子等を記入し介護計画に活かしている</p>		
28		<p>一人ひとりを支えるための事業所の多機能化</p> <p>本人や家族の状況、その時々生まれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる</p>	<p>本人の状況に応じ、通院・買い物等柔軟に取り組んでいる</p>		

29		<p>地域資源との協働</p> <p>一人ひとりの暮らしを支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している</p>	<p>小・中学生のボランティア受け入れや訪問美容サービスの利用</p>		
30	11	<p>かかりつけ医の受診診断</p> <p>受診は、本人及び家族等の希望を大切にし、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している</p>	<p>定期的往診、特変時の受診や困った時等電話での相談(24H)出来る体制になっている</p>		
31		<p>看護職員との協働</p> <p>介護職員は、日常の関わりの中でとらえた情報や気づきを、職場内の看護職員や訪問看護師等に伝えて相談し、個々の利用者が適切な受診や看護を受けられるように支援している</p>	<p>日頃の情報や気づきを介護記録に記入し、看護師に相談・意見を仰いでいる</p>		
32		<p>入退院時の医療機関との協働</p> <p>利用者が入院した際、安心して治療できるように、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。又は、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている。</p>	<p>病院を受診した結果、入院が決定した時点で家族に連絡し病院へ同行。常備薬の記録やサマリー等を持参している</p>		
33	12	<p>重度化や終末期に向けた方針の共有と支援</p> <p>重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人・家族等と話し合いを行い、事業所でできることを十分に説明しながら方針を共有し、地域の関係者と共にチームで支援に取り組んでいる</p>	<p>家族も一緒にかかりつけ医からの話をよく聞き今後の家族の希望やホームとしてどこまで出来るかの話し合いを何度も行っている</p>		
34		<p>急変や事故発生時の備え</p> <p>利用者の急変や事故発生時に備えて、全ての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている</p>	<p>夜間急変マニュアル等を解りやすい所に掲示し仕事の合間にスタッフ間で話し合っている</p>		

35	13	<p>災害対策</p> <p>火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている</p>	<p>地域の消防団や自治会の方の協力のもと消防署から年2回の訓練を受けている。心肺蘇生の実習や講習も受けている</p>		
その人らしい暮らしを続けるための日々の支援					
36	14	<p>一人ひとりの人格の尊重とプライバシーの確保</p> <p>一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている</p>	<p>声掛け等を行う時には、ご年配という意識を持ち対応している</p>		
37		<p>利用者の希望の表出や自己決定の支援</p> <p>日常生活の中で本人が思いや希望を表したり、自己決定できるように働きかけている</p>	<p>その場その場で本人に自己決定出来るような声掛けを行っている</p>		
38		<p>日々のその人らしい暮らし</p> <p>職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している</p>	<p>一人ひとりの状態に応じ、日々を楽しくその人らしい生活が出来るよう支援している</p>		
39		<p>身だしなみやおしゃれの支援</p> <p>その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援している</p>	<p>入浴時など着替える時には本人に選んでもらっている</p>		
40	15	<p>食事を楽しむことのできる支援</p> <p>食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員が一緒に準備や食事、片付けをしている</p>	<p>日課として出来る事は手伝ってもらい、体調に応じて手伝ってもらっている</p>		
41		<p>栄養摂取や水分確保の支援</p> <p>食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている</p>	<p>水分はチェック表にて把握し、一人ひとりの状態に合わせ食べやすいように提供している</p>		

42		<p>口腔内の清潔保持</p> <p>口の中の汚れや臭いが生じないように、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている</p>	<p>毎食後は、歯磨き・うがいをして頂き、義歯の洗浄や手入れは職員がチェックし細菌予防している</p>		
43	16	<p>排泄の自立支援</p> <p>排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立に向けた支援を行っている</p>	<p>排泄チェック表を用い、尿意有無にかかわらず個人の時間を見計らい、トイレで排尿出来るよう支援している</p>		
44		<p>便秘の予防と対応</p> <p>便秘の原因や及ぼす影響を理解し、飲食物の工夫や運動への働きかけ等、個々に応じた予防に取り組んでいる</p>	<p>毎日の排泄行為を記録し、十分な水分と消化吸収繊維質の多い食材を提供し散歩、腹圧を刺激する運動の声掛けを行う</p>		
45	17	<p>入浴を楽しむことができる支援</p> <p>一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めず、個々に応じた入浴の支援をしている</p>	<p>本人のこれまでの生活習慣や希望に合わせて入浴出来るよう配慮している。言葉かけや対応の工夫を行い、一人ひとりに合わせた入浴支援をしている</p>		
46		<p>安眠や休息の支援</p> <p>一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している</p>	<p>一人ひとりの体調に合わせて日中の活動を促し、生活リズムを整え休息が取れるよう支援している</p>		
47		<p>服薬支援</p> <p>一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている</p>	<p>服薬時は、本人と内容の確認を行い服用を支援している。内容をすぐに確認出来るよう薬の説明をファイル保管している</p>		

48		<p>役割、楽しみごとの支援</p> <p>張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている</p>	<p>本人が経験で得た事を生かし、楽しみが増えるように支援している</p>		
49	18	<p>日常的な外出支援</p> <p>一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援に努めている。また、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるように支援している</p>	<p>施設・地域での事業等などに参加し、外出する機会を増やしながらか支援している</p>		
50		<p>お金の所持や使うことの支援</p> <p>職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している</p>	<p>可能な方に対しては外出する時など本人の希望に応じて使えるように支援している</p>		
51		<p>電話や手紙の支援</p> <p>家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている</p>	<p>本人が希望される時には家族に電話をし、年賀状・手紙などは可能な方に対しては本人に書いてもらいながら支援している</p>		
52	19	<p>居心地のよい共用空間づくり</p> <p>共用の空間（玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等）が、利用者にとって不快や混乱をまねくような刺激（音、光、色、広さ、温度など）がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている</p>	<p>季節に応じて利用者・職員で作成し施設内の壁などに飾り付けを行っている</p>		
53		<p>共用空間における一人ひとりの居場所づくり</p> <p>共用空間の中で、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている</p>	<p>利用者・職員でテーブルを囲み貼り絵・歌など楽しく過ごせるように工夫しながら支援している</p>		

54	20	居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	自宅で使用していた家具等を持ち込み生活しやすい空間を作っている		
55		一人ひとりの力を活かした安全な環境づくり 建物内部は一人ひとりの「できること」や「わかること」を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している	施設内バリアフリー、居室前には表札を付け、自分の居室が解かるようにしている		
アウトカム項目					
56		職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる。 (参考項目：23,24,25)		1, ほぼ全ての利用者の	2, 利用者の2/3くらいの
				3, 利用者の1/3くらいの	4, ほとんど掴んでいない
57		利用者と職員が一緒にゆったりと過ごす場面がある。 (参考項目：18,38)		1, 毎日ある	2, 数日に1回程度ある
				3, たまにある	4, ほとんどない
58		利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている。 (参考項目：38)		1, ほぼ全ての利用者が	2, 利用者の2/3くらいが
				3, 利用者の1/3くらいが	4, ほとんどいない
59		利用者は、職員が支援することで生き生きとした表情や姿がみられている (参考項目：36,37)		1, ほぼ全ての利用者が	2, 利用者の2/3くらいが
				3, 利用者の1/3くらいが	4, ほとんどいない
60		利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている (参考項目：49)		1, ほぼ全ての利用者が	2, 利用者の2/3くらいが
				3, 利用者の1/3くらいが	4, ほとんどいない
61		利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている。 (参考項目：30,31)		1, ほぼ全ての利用者が	2, 利用者の2/3くらいが
				3, 利用者の1/3くらいが	4, ほとんどいない
62		利用者は、その時々状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らせている。 (参考項目：28)		1, ほぼ全ての利用者が	2, 利用者の2/3くらいが
				3, 利用者の1/3くらいが	4, ほとんどいない
63		職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができています。 (参考項目：9,10,19)		1, ほぼ全ての家族と	2, 家族の2/3くらいと
				3, 家族の1/3くらいと	4, ほとんどできていない

64	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている。 (参考項目：9,10,19)	1, ほぼ毎日のように
		2, 数日に1回程度ある
		3. たまに
		4. ほとんどない
65	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりの拡がりや深まりがあり、事業所の理解者や応援者が増えている。 (参考項目：4)	1, 大いに増えている
		2, 少しずつ増えている
		3. あまり増えていない
		4. 全くいない
66	職員は、生き活きと働いている。 (参考項目：11,12)	1, ほぼ全ての職員が
		2, 職員の2/3くらいが
		3. 職員の1/3くらいが
		4. ほとんどいない
67	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う。	1, ほぼ全ての利用者が
		2, 利用者の2/3くらいが
		3. 利用者の1/3くらいが
		4. ほとんどいない
68	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う。	1, ほぼ全ての家族等が
		2, 家族等の2/3くらいが
		3. 家族等の1/3くらいが
		4. ほとんどいない